



令和4年度2学期が始まります。2 学期も御理解、御協力をお願いいたします。

きょうりょくのステージはじめの会 校長あいさつ

おはようございます。今朝、元気なあいさつと笑顔で登校するみなさんを見て、ともえっ子のみなさんが楽しく充実した夏休みを送ることができたのではないかと想像しています。

今日から2学期です。2学期の前半、9月と10月はきょうりょくのステージです。協力の意味は、「力を合わせて努力して事に当たること」です。はじめに5年生が7月に行った観音山自然教室の活動から、協力の様子をいくつか確認しましょう。

私が見たのは、2日目の冒険ラリーでした。5、6人のグループで、一日かけて、自分たちが決めた山の中のコースを歩く活動です。この日の天気は雨で、コースが分かりにくくなったり滑ったりと、苦労することがたくさんありました。

道に迷ってしまったグループがありました。地図をたよりにみんなで話し合い、チェックポイントに行きました。そこで、先生に確認し、その後のコースをはっきりさせました。仲間で相談して、思い切ってコースを変更したグループもあります。雨に濡れ体調が悪くなる子、大変さにつらくなってしまいう子もいました。そんなとき、仲間が「一緒にがんばろう」「チェックポイントまで行って先生に相談しよう」などと励まし、体調不良の子には、雨が当たらない所で休むよう配慮しました。すると、多くの子が再びがんばることができました。

私は、最後にチェックポイントに着いたグループと一緒に自然の家に向かいました。とても疲れていましたが、「僕たちが一番がんばっている」などと声を掛け合ってがんばりました。途中の沢が増水し、観音山のおじさんがついて、膝まで沢に入り、ロープにつかまりながら沢を渡りましたが、「いやだ」とか「怖い」などと言わずに、「貴重な体験」と前向きにとらえていました。これらのグループには、思いやりと努力が見られました。

夕べのつどいでは、疲れていても、みんな話す人の方に身体を向けて聞き、話し終わると拍手するなど、規律と温かさあふれる会になりました。進行役の人は、自分たちの力でやり遂げました。みんなの思いやりと努力でいいつどいになりました。

朝食の後、私は5年生の皆さんにペットボトルを分けました。渡すとほとんどの子が「ありがとうございます」と言いました。部屋をのぞくと、布団がしっかりとしまっており、上靴も部屋側に並べられていました。おかげで、みんな、気持ちよく活動できました。

観音山の翌日、教室を除くと、6年生の皆さんがお帰り動画を流していて、励ましのメッセージも掲示されていました。教室がとても温かい雰囲気になりました。

協力によって、成長やいい雰囲気が生まれ、がんばろうという気持ちも高まります。そして、協力が生まれる元は、思いやりと目標に向かう努力ではないかと考えました。

そこで、今日はもう一つ、思いやりについてお話します。「思いやり」は、思いやりの心をもつことと、思いやりの心を言葉や行動で表すことのふたつが大切です。みなさんは思いやりの心をい



っぱい持っていますが、どんなふうに言葉や行動にすればいいか、そのことがよく分かる「思いやり算」というお話を紹介します。学年によっては、まだ習っていない計算もありますが、きっと分かると思います。まず9年ほど前に、AC ジャパンという団体がつくったコマーシャルを見てもらいます。

おもいやり算とは、人を笑顔にする算数です。ともえのスローガン「友だちを もっともっと 笑顔にしよう」を大事にしている袋井北小学校にぴったりです。

【+（たす） 助け合うと大きな力に】

困っているお友達がいたら、例えば手のけがをした友達がいたら、移動の時に荷物を持ってあげたり、給食を運んであげたりすると、やってもらった友達はうれしいものです。そして、やってあげた自分の心も弾んでいるでしょう。「やってあげる」「ありがとう」などの言葉が生まれそうですね。

【-（ひく） 引き受けると喜びが生まれる】

おうちの人や友達にお手伝いを頼まれたり、先生に何か役割をお願いされたときに、進んで引き受けることです。「いいよ」「一緒にやろう」などの言葉が生まれそうですね。たいへんだと思うこともあるかもしれませんが、でも、それを笑顔で行うと、心が磨き上げられてピカピカになります。

【×（かける） 声をかけるとひとつになれる】

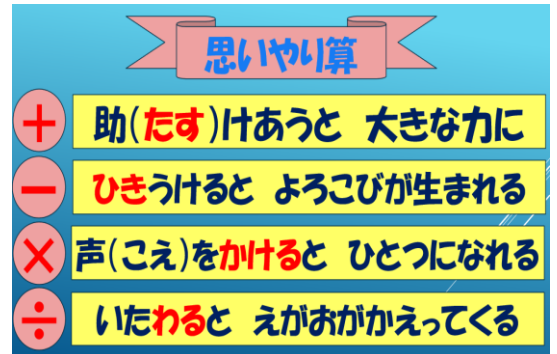
たいへんなことをがんばっている友達、元気のない友達、困っている友達などに、優しい言葉や励ましの言葉をかけることで、互いの心がひとつになれる。「がんばってね」「応援してるよ」「どうかしたの」「大丈夫」などの言葉が生まれそうですね。

【÷（わる） いたわると笑顔は返ってくる】

いたわるとは、困っている人や弱い立場の人などに、同情の気持ちをもって親切に接する、気を配って世話をするなどの意味があります。また、うれしいことがあったらみんなで喜び合い、悲しいことがあったらみんなで分かち合うことも、割るに含まれることではないかと思います。これができる学級では、一人の喜びはみんなの喜びになり、悲しみはみんなの力で元気に変わり、今の学級で過ごしたことが、一生のいい思い出になるでしょう。

このコマーシャルの最後は、「思いやり算、ほらやさしいでしょ。」で終わります。おもいやり算は、やさしい気持ちにあふれ、そして、行うのもやさしいので、やっただけ、協力をいっぱい作ることができると思います。

きょうりょくのステージには運動会やペア活動などの行事がありますが、思いやりと目標に向かう努力で生まれる協力を、みんなで大切にしてください。



<「本の国のもじもじの小人」さんからたくさんの本をいただきました!>

1学期末に「本の国のもじもじの小人」さんから本をいただきました。1年生から6年生までが楽しんで読むことができる本をたくさんいただきました。今、学校の図書室で子供たちに読んでもらうことができるように登録などの手続きを進めています。

大勢の子供たちが笑顔で本に親しむ姿が見られると思うと、感謝の気持ちでいっぱいです。「本の国のもじもじの小人」さん、本当にありがとうございました。

